

# 地域への貢献 ～ 民有林行政への協力・支援を目指して ～

北海道森林管理局森林整備部  
技術普及課長補佐  
木村 雅代

## はじめに

令和4年度から令和5年度まで北海道森林管理局空知森林管理署で勤務し、管内民有林と連携し森林施業を推進する業務に携わったことをきっかけに、昨年森林総合監理士の資格を取得しました。現在所属する北海道森林管理局技術普及課では、各種研修や会議等を通じて林業知識の普及と地域林業を牽引する森林総合監理士等の登録促

進と資質向上を目的とした人材育成を図っていますので、これまでの現場業務や現在の活動事例を紹介します。

## 人材育成の取組

当課で森林管理署の若手や中堅職員を対象に実施している「民有林支援・連携推進研修」では、グループワークを取り入れ国

有林としてどのような角度から地域へ貢献していくことができるのか、地域ニーズ把握の重要性や市町村への林業技術支援の必要性について研修生同士で考え、意見やアイデア等を共有し、プレゼンする内容となっています。研修前と研修後では研修生の民有林支援・連携に対する意欲が大きく向上しており、その様子を間近で感じることができるとはうれしい限りです。

また、年に2回開催する「民有林連携推進会議」では森林管理署等の民有林支援・連携担当者から地域課題の解決に向けた取組概要と取組成果について、具体的な事例を交えたプレゼン資料を作成報告してもらうこととし、各署における効果的な市町村支援に向けた指導を行っているところです。



「民有林支援・連携推進研修」



「民有林連携推進会議」での各署の取組報告

## ■各署における地域課題の解決に向けた重点取組

R6年度  
国有林フォレストラーが中心となり署ごとにテーマを設定  
地域の課題解決に向け民有林と国有林が連携し一体的に推進



令和6年度各署等における地域課題の解決に向けた取組(全体概要、計画版)



## 地域林業の活性化に向けた取組

### (1) 地域林業関係者との連携

空知森林管理署では、市有林と国有林が一体となり、効果的な路網の整備及び効率的な森林施業の実施に取り組むことを目的として、令和5年3月に芦別市と「芦別市落辺地域森林整備推進協定」を締結しました。

同年9月には本協定に基づき、地域の林業関係者と適切な森林整備の在り方について深く考えていく機会のある場として勉強会を開催しました。



芦別市落辺地域森林整備推進協定調印式

勉強会には、近隣の市や地元森林組合にも参加いただき、民有林、国有林双方の現場を見学し、間伐の方法だけでなく、森林

作業道、土場の設定、丸太や末木枝条の販売方法、林道の維持管理等について幅広く意見交換を行いました。

参加者からはこのような機会があれば関係者の距離も縮まり、話がしやすくなるという好評でした。

### (2) 林業技術の提供

国有林では造林作業の担い手不足や造林事業量の増加に対応するため、伐採から造林までの一貫作業システムの導入やコンテナ苗の普及など、造林作業の軽労化に取り



間伐直後の人工林(国有林)で勉強会

組んでおり、民有林への技術の提供による普及を図っています。

令和5年度は関係市町や振興局、森林組合を対象に、ラジコン草刈り機による刈り作業の現地見学会を開催し、刈払い機による人力作業が主体の下刈り作業について、機械による軽労化への取組に関する情報を共有し、普及を図りました。

見学会に出席した市町の林務担当職員からは、「機械下刈りを見据えた植付設計を行っていることが印象に残った。」「労働力軽減の面では成果は大きいですが、効率面では刈払い機の方が早いと感じた。」等の感想が寄せられました。



ラジコン草刈り機現地見学会

### (3) 課題解決に向けた取り組みの成果・今後の課題

見学会や勉強会を通じて地域の林業関係者が国有林の技術に触れ、「新しい林業に向けた知識を深めることができ、国有林職員にとっては自身も含め民有林行政について理解を深めるきっかけとなりました。今後は地域の森林における多面的機能の高度発揮や資源の循環利用を図っていくため、これまで各機関が行ってきた森林整備の進め方、販売方法を踏まえ、関係者が一体となって「施業の集約化」や「新しい林業に向けた具体的な取組を模索していく必要がある」と考えています。

## おわりに

森林総合監理士としては新米ではありますが、様々な経験を積んでいく中で、今後も国有林と民有林の橋渡し役として現状をよく見極め、何ができるか、何をしたらよいかベターな判断ができるよう自己研鑽に努めつつ、後進の育成にも力を注いでいきたいと思っております。

